

平成25年度総括

平成25年度は平成24年度同様、南区の区民応援事業の採択を受け、資金をかけた活動を進めることができました。中でも、2回目となるシンポジウムでは220名の参加者数となり、多くの方の認知症への関心の高さを実感しました。年度末にはあんしん相談窓口事業所数が72事業所となり、多くの事業所さんとの連携が図れていること、また、みなサポ検索ねっとでは検索依頼が3件と窓口事業所が増えることで確実に“検索する目”が増えていることにもつながっています。強化活動の中では、平成27年度末を目標に掲げる南区内の全小中高校での認知症講座開催を増やすことができなかったことが残念です。しかし、新たに1つの保育園で講座を開催することができ、今年度は2つの保育園での講座を開催することができました。

他団体の中でも、特に、一般社団法人下京西部医師会さんとの連携が強くなっています。具体的には、認知症電話相談事業（京都市 認知症モデル事業）への協力、また、年度末に発行した南区認知症あんしんMAPでは、みなサポ相談窓口事業所と南区のもの忘れ相談医の場所や連絡先を1枚にまとめたMAPを作成しており、南区が配布する認知症もの忘れチェックシートにそのMAPが挟み込まれ3,000部配布することにもなりました。

最後に、みなサポは、活動内容も増え、MAPや通信、缶バッジと言った活動啓発する物も増えてきています。その結果、認知症の方やその家族、みなサポにとって、どのような変化が起こっているのかを考える機会をもつことが必要になってきていることを結びの報告といたします。

平成26年度に向けて

活動一つひとつに多大なる支出（決算書参照）が伴っています。前年度と今年度は採択された南区の補助金を活動資金として進めていますが、活動の資金をどう考え、仮に南区の補助金が採択されなかった際の資金繰りや活動内容等の検討を始めておく必要があるでしょう。また、目標に掲げている南区内の子供たちに認知症を知る機会づくりの拡大に向けて、今度さらに学校・学区・自治会・他団体等との連携を深めていかなければ到底実現できる目標ではありませんので、平成26年度は次年度に向けて相当な準備年度であるといえるでしょう。

平成25年度 事業方針（※平成24年度より継続）

私たちは「南区民があんしんして暮らせる南区づくり」に向け、“認知症”をきっかけにし、区民・事業所・各種団体・行政が一体となって認知症の方やその家族があんしんして自宅で暮らし続けることができるよう活動を行う。また、南区独自の地域包括ケアの確立に向け、大規模災害時及び各種団体との連携を強化する。

主な内容

1. 小・中・高校での講座を新たに最低3校増やす **（強化）**
 - 1) 平成27年度末（平成28年3月31日）までに全校開催→実績新規0校
 - 2) サポーター講座実績 29回開催（市内2位）・782名（市内4位）サポーター養成 ※別紙参照
2. 窓口事業所と管轄包括圏域の担当者顔の見える関係づくり **（継続）**
 - 1) 5月研修会、12月研修会&窓口事業所間懇親会
 - ①平成25年6月3日（月）故郷の家 京都 50名参加 講師 福富 昌城氏
 - ②平成26年1月11日（土）故郷の家 京都 54名参加 講師 成本 迅氏※認知症サポートリーダーフォローアップ研修兼ねる
 - ③平成26年1月11日（土）酔心 京都駅前B1店 31名参加
- 2) 新たな窓口事業所追加基準の作成→作成し、要綱に追加 平成25年5月
- 3) 相談窓口マニュアルの見直し→次年度へ繰越
- 4) みなサポそうさくネットの見直し

①見直し VOL2、平成25年5月

②搜索実績3件(4/25「発見」・7/17「発見」・3/26「取り下げ」)

5) 新規窓口事業所説明会 平成25年5月10日(金)・平成25年12月20日(金)

6) 要綱見直し 平成25年5月

7) 認知症サポートリーダー独自名簿作成 平成25年9月

3. 相談実績の管理と情報共有 (強化)

1) 相談内容の分析、情報提供・共有

①年4回開催の事業者連絡会議で情報収集

②ホームページ内に専用報告ページ作成し試行開始

4. アドバイザーの育成 (充実)

1) 研修(年4回)

①9/1(日)第2回南区認知症セミナー参加

②9/13(金)左京区の徘徊模擬訓練DVD閲覧・意見交換

③11/8(金)事例検討(認知症で介入拒否。外出しては警察に保護されて帰宅するを繰り返す方。)

④3/10(月)第2回南区認知症シンポジウム参加

5. セミナー・シンポジウム・総会 (新規)

1) 総会(5月末まで)・セミナー(8月)・シンポジウム(3月)

①総会 平成25年6月3日(月)故郷の家 京都 50参加 講師 福富 昌城氏

②セミナー 平成25年9月1日(日)京都テルサ 105名参加 講演 武地 一氏

③シンポジウム 平成26年3月10日(月)龍谷大学バンティ響都ホール 220名参加
認知症サポーター講座兼ねる 115名

6. 大規模災害時連携 (継続)

1) 南区役所地域力推進室防災担当・窓口事業所・福祉避難所との連携

①区の防災担当課長(7/30)、南区社会福祉協議会事務局長(7/30)と意見交換

7. 各種団体との連携の強化 (強化)

1) 5の事業を通じて、共催・後援等により連携→セミナー及びシンポジウムでの共催・後援

2) 6/18(火)南民生児童委員大会 みなサポ活動報告 石井 リーガローヤルホテル

3) 下京西部医師会事業「下京区・南区認知症電話相談」協力 10/1~3/31 電話相談担当

8. 広報 (継続)

1) 前年度より継続、年2回活動だよりを発行→第3号(8月)・第4号(3月)各4,300部 発行

2) みなサポ缶バッチ制作 1,000個

3) 南区認知症あんしん相談窓口マップ 更新 6,500部発行 H25.6 ※南区役所との連携

4) すこやかかわらばん vol3 1 記事掲載

5) 南区認知症あんしんMAP 南区役所へ販売 3,000部 H26.3

6) 電子書籍出版 内容:第2回南区認知症シンポジウム ※平成26年5月出版予定

9. その他

1) 平成25年度「みなみ力で頑張る!区民応援事業」交付決定625,000円

2) 平成26年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア学会(奨励賞)

→他薦後、一次選考通過し、最終選考で落選

外部委員

1. 介護サービス事業所等連絡調整会議 世話人 熊内(南事務所)

2. 南区地域包括センター運営協議会 委員 石井(代表)

3. 南区地域福祉推進会議 委員 石井(代表)